

1 1. 対策方針

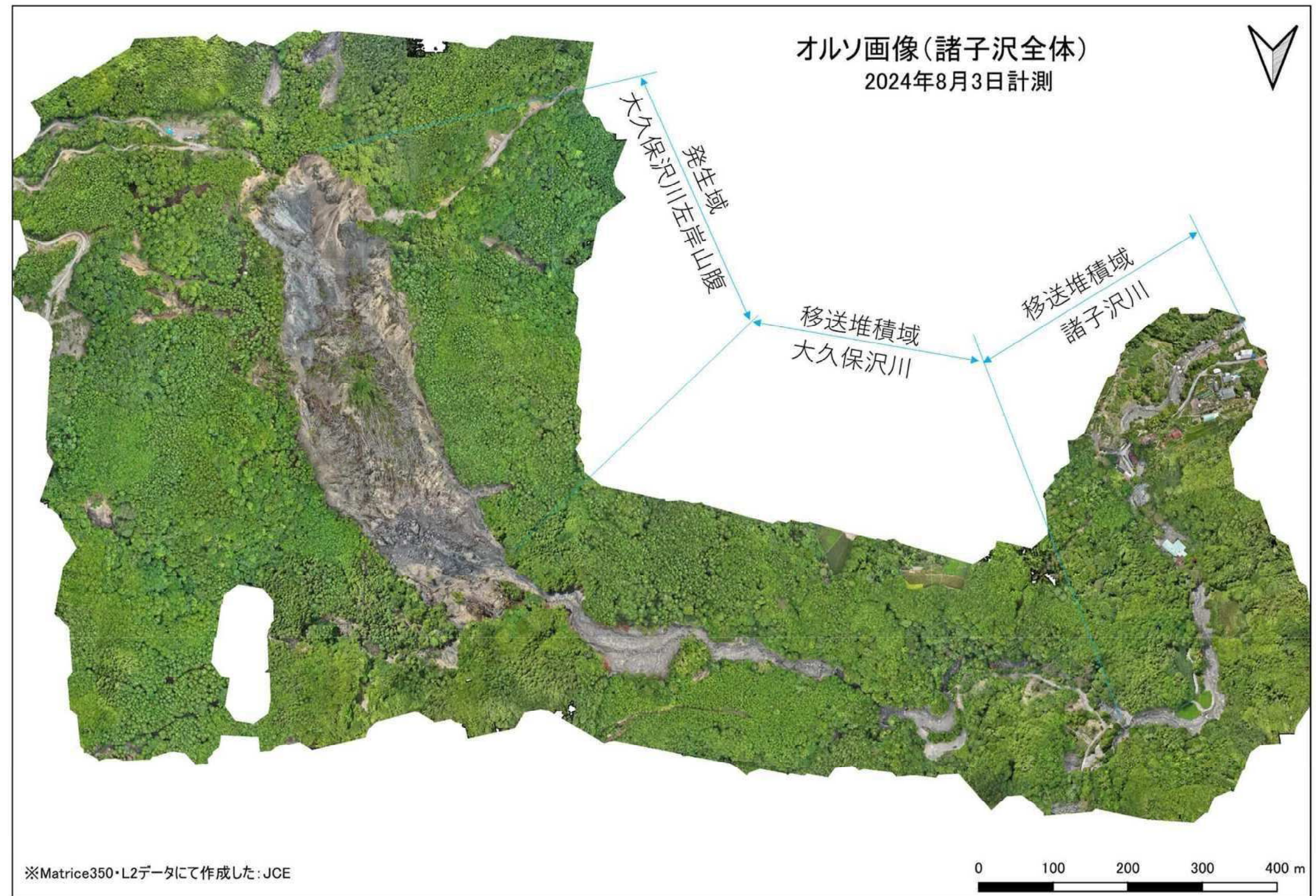
- ・地すべりの発生域から移送堆積域までを復旧する。

<発生域の対策>

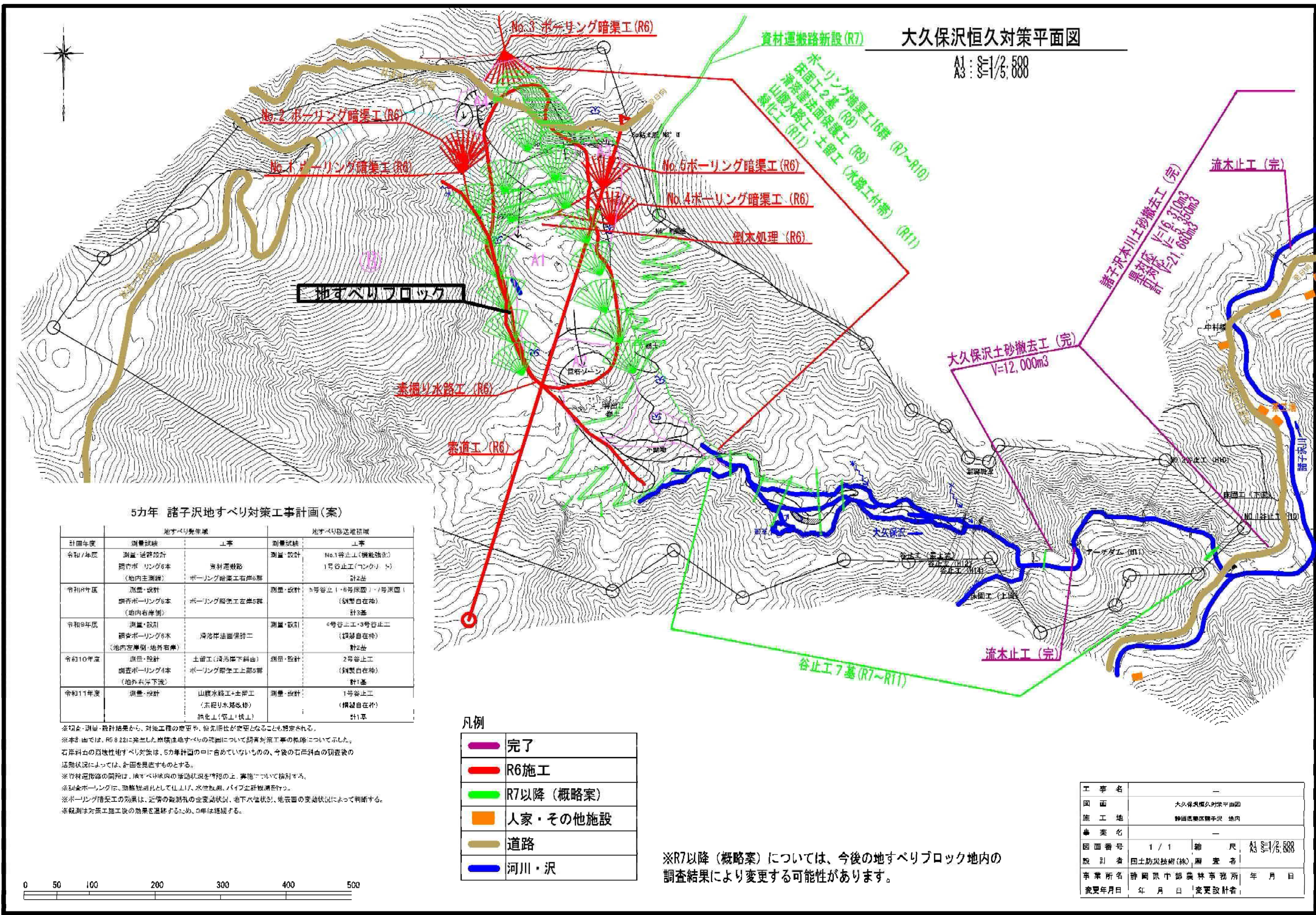
- ・法面保護工
- ・土留工
- ・水路工
- ・地下水排除工
- ・緑化工

<移送堆積域の対策>

- ・土砂撤去工
- ・独立基礎型流木補足工
- ・既設谷止工機能強化
(嵩上げ、流木補足工)
- ・床固工・谷止工



オルソフォト 令和6年8月2日



大久保沢恒久対策平面図

A3: 1/5,888

5カ年 諸子沢地すべり対策工事計画(案)

計画年度	地すべり発生地		地すべり誘発地帯	
	測量・設計	工事	測量・設計	工事
令和7年度	測量・設計設計 調査ポ (リング6本 (地内主測線)	工事 資材運搬路 ボーリング暗渠工右岸6群	測量・設計 No.1谷止工(機能強化) 1号谷止工(リング) ト	工事 計2基
令和8年度	測量・設計 調査ボーリング6本 (地内右岸側)	ボーリング暗渠工左岸5群	測量・設計 5号谷止工・6号床面工 (鋼製自在枠)	計3基
令和9年度	測量・設計 調査ボーリング6本 (地内左岸側・地外右岸)	浸透岸法面保護工	測量・設計 6号谷止工・3号谷止工 (鋼製自在枠)	計2基
令和10年度	測量・設計 調査ボーリング4本 (地外右岸下流)	土留工(浸透岸下斜面) ボーリング暗渠工上部5群	測量・設計 2号谷止工 (鋼製自在枠)	計1基
令和11年度	測量・設計	山麓水路工+土留工 (東廻り水路改修) 鉄化工(取土・保土)	測量・設計 1号谷止工 (鋼製自在枠)	計1基

※調査・測量・設計結果から、対策工程の変更や、優先順位が変更となることも想定される。
※本図では、R6.8.22に発生した崩壊地すべりの範囲について調査対策工事の概略について示した。
右岸科山の崩壊地すべり対策は、5カ年計画の中に含めていないものの、今後の右岸科山の調査後の
地盤状況によっては、計画を見直すものとする。
※資材運搬路の開削は、崩壊地すべり発生時の上、実施について検討する。
※調査ボーリングは、動態観測孔として仕上げ、水位観測、パイプ工計観測を行う。
※ボーリング暗渠工の効果は、近隣の観測孔の地盤状況、地下水位状況、地表面の変動状況によって判断する。
※観測は対策工施工後の効果を把握するため、3年は継続する。

凡例

	完了
	R6施工
	R7以降(概略案)
	人家・その他施設
	道路
	河川・沢

※R7以降(概略案)については、今後の地すべりブロック地内の調査結果により変更する可能性があります。

工事名	—		
図面	大久保沢恒久対策平面図		
施工地	静岡県豊田郡千代田町 地内		
事業名	—		
図面番号	1 / 1	縮尺	A3: 1/5,888
設計者	国土防災技術(株)	調査者	—
事業所名	静岡県中部農林事務所	年月日	—
変更年月日	—	変更設計者	—

調査計画平面図

< 調査種 >

- ・ 調査ボーリング
- ・ 地下水検層
- ・ 地下水位観測
- ・ パイプ歪計観測

※BV-1～BV-6は
実施済。

